

再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名 一般国道2号 <small>こうべ こうさてんかいりょう</small> 神戸2号交差点改良	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 近畿地方整備局														
起終点 自：兵庫県神戸市須磨区西須磨 至：兵庫県神戸市垂水区泉が丘1丁目		延長 2.8km														
事業概要 一般国道2号は、大阪市から北九州市に至る総延長681kmの主要幹線道路であり、西日本の経済活動、地域の生活道路として大きな役割を果たしている。 神戸2号交差点改良は、主要渋滞ポイントである塩屋交差点、塩屋1丁目交差点を含む神戸市西部の国道2号における交通混雑の緩和、交通安全の確保、周辺地域の活性化等を目的に計画された道路である。																
H13年度事業化 都市計画決定 ー 用地着手 ー H17年度工事着手																
全体事業費 22億円 事業進捗率 約35% 供用済延長 ー																
計画交通量 29,000台/日																
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">B/C</td> <td style="text-align: center;">(事業全体) 3.1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(残事業)</td> <td style="text-align: center;">5.2</td> </tr> </table>	B/C	(事業全体) 3.1	(残事業)	5.2	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">総費用</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/ (事業全体)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">18/30億円</td> <td style="text-align: center;">95/95億円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(事業費：9.1/21億円)</td> <td style="text-align: center;">(走行時間短縮便益：75/75億円)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(維持管理費：9.3/9.3億円)</td> <td style="text-align: center;">(走行費用減少便益：5.2/5.2億円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(交通事故減少便益：15/15億円)</td> </tr> </table>	総費用	(残事業)/ (事業全体)	18/30億円	95/95億円	(事業費：9.1/21億円)	(走行時間短縮便益：75/75億円)	(維持管理費：9.3/9.3億円)	(走行費用減少便益：5.2/5.2億円)		(交通事故減少便益：15/15億円)
B/C	(事業全体) 3.1															
(残事業)	5.2															
総費用	(残事業)/ (事業全体)															
18/30億円	95/95億円															
(事業費：9.1/21億円)	(走行時間短縮便益：75/75億円)															
(維持管理費：9.3/9.3億円)	(走行費用減少便益：5.2/5.2億円)															
	(交通事故減少便益：15/15億円)															
基準年 平成22年																
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=5.7(交通量 +10%) B/C=4.6(交通量 -10%) 事業費変動：B/C=4.9(事業費 +10%) B/C=5.4(事業費 -10%) 事業期間変動：B/C=5.1(事業期間+20%) B/C=5.3(事業期間-20%)																
事業の効果等																
①交通混雑の緩和 ・一般国道2号の交通量は交通容量を大きく超過しているが、整備により交通混雑の緩和が期待できる。 ・事業区間の整備により、旅行速度の向上が期待できる。																
②交通安全の確保 ・一般国道2号の死傷事故率は、兵庫県内の一般国道2号の約2倍であり、その半数以上が渋滞に起因する追突事故であるが、整備により交通事故の減少が期待できる。																
③地域の活性化 ・事業区間の須磨区や隣接する垂水区舞子の観光客入込数は増加傾向であり、休日の交通混雑緩和により、地域の観光産業を支援すると期待される。 ・沿線へのアクセス性向上により、観光客の増加が見込まれる。 (王子動物園：観光客入込数：142万人/年、須磨海浜水族園：観光客入込数：137万人/年)																
④高度医療施設へのアクセス向上 ・明石市～兵庫県立災害医療センターへの所要時間が短縮。(47分→42分)																
⑤神戸空港へのアクセス向上 ・明石市～神戸空港への所要時間が短縮。(50分→45分)																
⑥神戸港へのアクセス向上 ・明石市～神戸港への所要時間が短縮。(43分→38分)																
関係する地方公共団体等の意見																
神戸市長の意見： ・国道2号は神戸市内を東西に連絡する重要な幹線道路である。 ・当該区間のある神戸西部地域の沿岸部では現況2車線しかなく、平日ラッシュ時の交通渋滞だけではなく、事業区間周辺には神戸市の主要な観光施設も多く休日にも交通渋滞が慢性化している。 ・国道2号の交通渋滞を解消し、安全で円滑な道路交通を確保するためにも、引き続き、事業を継続し早期に完成することが必要であると考え。																
事業評価監視委員会の意見																
審議の結果、「国道2号神戸2号交差点改良」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、概ね適切に進められており、対応方針(原案)のとおり「事業継続」でよいと判断される。																

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

一般国道2号の神戸市垂水区の交通量は近年約3万台/日でほぼ横ばいに推移しているが、交通容量を超過している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

H21より橋梁工事に着手している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き事業を推進し、早期の供用を目指す。

施設の構造や工法の変更等

・事業実施にあたり、歩道構造の見直しや新工法・新技術の活用等、コスト縮減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

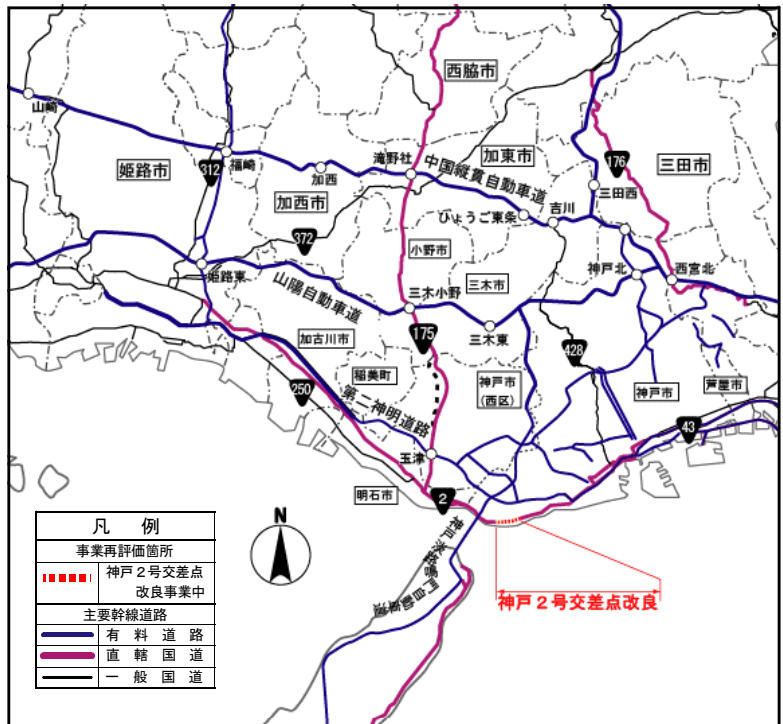
※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

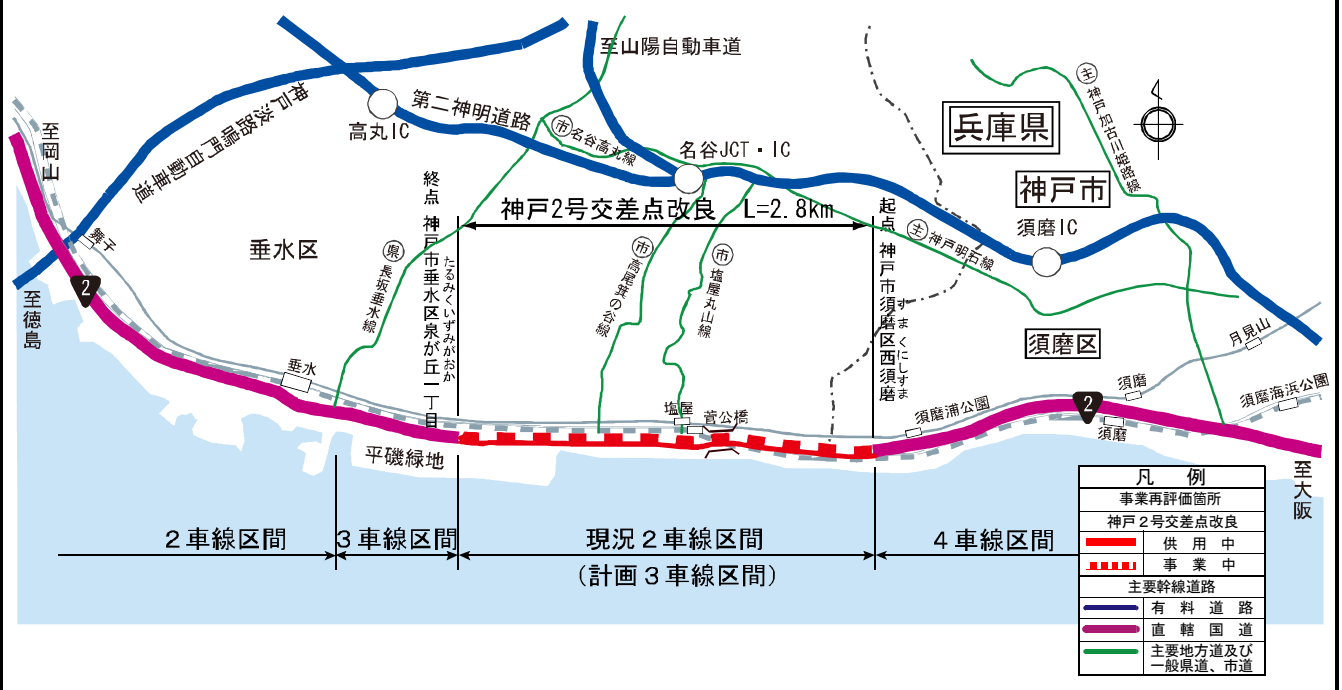
事業名	一般国道2号 神戸2号交差点改良	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局
起終点	自：兵庫県神戸市須磨区西須磨 至：兵庫県神戸市垂水区泉が丘1丁目	延長	2.8km		

事業概要図
【位置図】



凡例	
事業再評価箇所	神戸2号交差点改良事業中
主要幹線道路	有料道路 直轄国道 一般国道

【概要図】



凡例	
事業再評価箇所	神戸2号交差点改良
主要幹線道路	供用中 事業中
主要幹線道路	有料道路 直轄国道 主要地方道及び一般県道、市道